

Webサイト運営者・管理者向けWebアクセシビリティ向上セミナー

誰にでも管理しやすいアクセシビリティ CMS（コンテンツ管理システム）

事例 紹介

2006/11/2

安田善一郎

本日のアジェンダ

- CMS基本 / いろいろなCMS
- CMSとアクセシビリティ
- 簡単Web管理システム「ハニー」
- 管理者アクセシビリティ実現のポイント
- 管理者のアクセシビリティの必要性
- おまけ：CMS導入のポイント

講師の自己紹介

- web制作 フリーランサー
サイト企画、制作、運用各フェーズでの
ディレクション、コンサルテーション
- 所属
NPO法人 ちょうふどっとこむ
Plone研究会
ハーモニー・アイ（賛助会員）

CMSの基本（念のため）

- CMS = コンテンツ管理システム
- Webサイトの管理
- サイト更新の負荷を減らす = コストを下げる
- 間違いを減らす = サイトの品質を上げる

いろいろなCMS

- 価格、機能、開発元（海外か国内か）
など、実に様々
- 商用システム
- オープンソース

商用CMS

いろいろなCMS

- 50万程度～数千万クラスまで
- 高機能、スケーラブル
- 入れただけでは使えない。
カスタマイズ、開発は必要。でも、
手を入れることができるところには限界が
- 大規模でないと入れる意味があまりない

オープンソースCMS

いろいろなCMS

- ライセンスフリー
- スケーラビリティもある
- カスタマイズ、開発は必要。そして、自由に手を入れることができる。
(これ重要)
- 中小規模のサイトでも導入できる

Pros/Cons

いろいろなCMS

- サポート

商用：

有償だが必ずサポートはある。＝安心感

- コスト

オープン：

初期導入コストがかなり抑えられる

CMSとアクセシビリティ

- CMSの有効性
テンプレートによる効果
- CMSの問題点
高機能＝価値が高いのか？
初期導入、開発コスト

CMSの有効性

CMSとアクセシビリティ

- テンプレートによる効果
デザイン、サイトイメージの統一
ユーザビリティ/アクセシビリティの確保が容易に
- 変更の容易さ
テンプレートを変更すれば一気にかわる

CMSの問題点

CMSとアクセシビリティ

- 高機能＝価値が高いのか？

汎用性、機能性を追求するあまり、理解に時間がかかる

結局、ある程度専門知識がないと使いこなせない

いくらテンプレートをしっかりしても管理側が使えないのでは意味がない...

CMSの問題点

CMSとアクセシビリティ

- 初期導入、開発コスト
入れただけでは使えない。
オープンソース利用と範囲、機能の限定によるコスト低減はある程度可能
- すべてをCMS化する？
サイトの目的とターゲット vs コスト、効果

はちみつプロジェクト

- 簡単Web管理システム「ハニー」
Ploneベースのコンテンツ管理システム
- Plone研究会の有志で作成
- 沖縄ハイサイネット

どんなことをしたか

簡単Web管理システム「ハニー」

- 管理者画面のカスタマイズ

メニュー構造／インターフェースデザイン

ワークフロー

- プロダクトの作成

写真の追加

日記の作成

カレンダーの追加

お知らせの作成

管理者アクセシビリティ 実現のポイント

- 捨てること、削ること
- 絞り込むこと
- 正しくわかりやすい言葉
- 画面変更の許容度

捨てること、削ること

管理者アクセシビリティ実現のポイント

- 迷ったらとりあえず削っておく
(ないと言われてから入れればよい)
- YAGNI
You are not going to need it

絞り込むこと

管理者アクセシビリティ実現のポイント

- 次の行動が連想できる
- 結果までのステップ数をできる限り少なく
- 余計なことは見せない。隠す
使わないもの、不要なものをいかに見えなくするか。
いかに「関係ない、ということがわかる」ようにするか

正しくわかりやすい言葉

管理者アクセシビリティ実現のポイント

- 正しくわかりやすい言葉
正しいことが書いてあれば分量は大きな障害にはならない
逆に、開発者の言葉はわかってもらえない

画面変更の許容度

管理者アクセシビリティ実現のポイント

- オープンソースの強み
オープンソースだからこそ、こういうアップ
ローチが可能
- 変更ができないのでは始まらない

管理者のアクセシビリティの 必要性

- 情報格差（デジタルディバイド）はさらに
拡大？

情報到達までの格差→

発信できるかどうかの格差へ変質

おそらく、情報の発信のしやすさが今後

いっそう求められてくる

管理者のアクセシビリティの 必要性

- 管理者アクセシビリティ＝おじいちゃんたちのため？

シニアに使いやすいもの＝

みんなが使いやすいはず

みんなのためになること＝

ビジネスになる可能性が高いはず

管理者のアクセシビリティの 必要性

- 身近な例だって考えられる
シニア向けのサイトが機能ゴテゴテだったら？
シニアターゲットのコマースサイト
シニアターゲットのコミュニティ
- フォームの使いやすさは永遠の課題

おまけ：CMS導入のポイント

- 機能よりもカスタマイズの許容度
いかに高機能か、ではなく、いかに削れるか、を考える
- 本当に汎用的な「高機能」が必要なのかよく考える。
本当に必要な機能は何か？を絞り込んで、優先順位をつける
 - サイトの目的は何か
 - ユーザーが求めているものを提供することに貢献するのか

おまけ：CMS導入のポイント

- サイトの本当の管理者は誰？
コンテンツのオーナーをしっかりと把握
誰が作成、誰がレビュー、承認、誰が公開？
本当にすべてシステム化するのが効率的かどうか。
どこまでをシステムでやるかを考えておく
- 段階的に実施することを考える
ドラスティックな変化についていける体制、カルチャーか？
小規模ではじめて、徐々に広げる方が有効ではないか？
システムありきで考えてないか？代替手段の方が効率的ではないか？